

各 位

上場会社名 株式会社 オービス
 代表者 代表取締役社長 御輿 岩男
 (コード番号 7827)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 梅田 孝史
 (TEL 084-934-2621)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年12月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年10月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|--------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,666 | 106 | 37 | 29 | 16.90 |
| 今回発表予想(B) | 4,619 | △535 | △600 | △764 | △441.56 |
| 増減額(B-A) | △1,047 | △642 | △638 | △793 | ―― |
| 増減率(%) | △18.5 | ―― | ―― | ―― | ―― |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年10月期第2四半期) | 5,220 | 451 | 403 | 239 | 138.54 |

平成21年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 11,724 | 315 | 169 | 109 | 63.29 |
| 今回発表予想(B) | 9,562 | △387 | △524 | △700 | △404.55 |
| 増減額(B-A) | △2,162 | △702 | △694 | △810 | ―― |
| 増減率(%) | △18.4 | ―― | ―― | ―― | ―― |
| (ご参考)前期実績 (平成20年10月期) | 10,195 | 604 | 520 | 202 | 117.00 |

平成21年10月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|--------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,125 | 22 | 15 | 3 | 1.79 |
| 今回発表予想(B) | 4,101 | △609 | △615 | △774 | △447.20 |
| 増減額(B-A) | △1,024 | △632 | △631 | △777 | ―― |
| 増減率(%) | △20.0 | ―― | ―― | ―― | ―― |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年10月期第2四半期) | 4,712 | 387 | 440 | 256 | 148.12 |

平成21年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 10,645 | 152 | 101 | 47 | 27.62 |
| 今回発表予想(B) | 8,506 | △529 | △574 | △738 | △426.26 |
| 増減額(B-A) | △2,139 | △682 | △676 | △785 | ―― |
| 増減率(%) | △20.1 | ―― | ―― | ―― | ―― |
| (ご参考)前期実績 (平成20年10月期) | 9,183 | 508 | 544 | 304 | 176.02 |

修正の理由

第1四半期連結会計期間においては、米国のサブプライムローンの破綻に端を発する世界経済の急速な減速により、民間整備投資の縮小・延期や主要取引先の大規模な生産調整等の影響を受け、当社グループを取巻く環境は急速に悪化いたしました。

連結の売上高につきましては、主に木材事業において自動車、産業機械、工作機械及び鉄鋼関連の企業収益が予想を超えて急速に悪化したことにより梱包用材の市場が収縮したことに加え、シェア拡大のため競合他樹種販売先等への戦略的販売価格による積極営業を展開したことにより競争が激化し、収益性が低下したため、木材事業の売上高は計画数値を15%程度下回りました。また、ハウス事業においては不動産や建設業界の経営環境は更に厳しさを増し、上場企業の大型破綻が頻発する等建設市場が悪化する中で、当社においても新規の引合金額が前期比で25%程度減少し、売上高も計画数値を同程度下回ることとなりました。

連結の利益面につきましては、売上高の減少に加え、木材事業の工場稼働率について市場の動向に合わせて慎重に調整を行ったことにより計画数値を15%程度下回ったため、製造コストが上昇いたしました。

また、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用による簿価の切下げ額の計上や経営環境の悪化に伴う繰延税金資産の取崩しを行ったことにより、計画数値を大きく下回りました。

第2四半期以降につきましても、世界経済の先行きは不透明感が強く、第1四半期連結会計期間と同様に今後とも厳しい経営環境が継続するものと予想され、通期にわたって回復が遅れると見込まれることから、前回発表の連結業績予想を修正いたします。

なお、修正予想において為替レートは1ドル103円から98円へと修正しております。

個別の修正理由も上記と同様であります。

【注意事項】

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。

以上